

HART*コミュニティースタッフ 合宿報告

教育開発支援機構 FD推進センター長
川上 忠重

2010年11月6日(土)、7日(日)の両日の日程で、法政大学多摩キャンパス 百周年記念館において、HART*コミュニティースタッフによるFD合宿が行われた。HART*コミュニティースタッフとは、「関東圏FD連絡会」を母体とする法政大学、青山学院大学、立教大学、東洋大学の4大学の学生で構成されるFDに関する取組みを学生の観点から考える、ボランティアメンバーである。既にHART*コミュニティースタッフとして、2010年8月27日(金)に行われた法政大学第5回FDフォーラム(サマーフェスタ)、『大学での「授業」の活性化とは!!』の企画・運営等も行ってきた。

今回の合宿の目的は、2011年3月12日(土)、13日(日)において、本学 市ヶ谷キャンパスで行われる「学生FDサミット2011 春」の企画の骨格づくりと内容検討である。合宿の発案、企画、準備、内容検討等も全て、HART*コミュニティースタッフが自ら役割分担を決め、自主的に行われたものである。初日は、ミーティング<1>とミーティング<2>の2部構成で、自己紹介から始まり、今までの学生FDサミットの報告や気づいた点、さらに学生FDサミット2011春骨格づくり①、②として、グループワークを主体とした、熱い議論が夜遅くまで展開された。二日目は、ミーティング<3>~ミーティング<5>の三部構成で、学生FDサミット2011春の内容について、全体会議を主体として行われた。各グループワークやミーティングでは、コーディネーターと書記の担当者を、サミットに向けての経験の「場」として位置づけ、毎回チェンジし、大学、学年や経験に関係なく、「仲間」として、ともに1つの目標に向かって全員で向上する意識が自然発生したことに、強い感銘を受けた。

詳しい内容については、企画段階のために今回は報告出来ないが、合宿での議論を活かし、HART*コミュニティとしての「学生FDサミット2011 春」のプログラムが、今から楽しみである。サミット参加申込は以下のHPと携帯からのQRコードによる受付も可能なので、是非、多くの学生の参加を期待したい。 <http://www.hosei.ac.jp/kyoiku/fd/>



HART*コミュニティースタッフ



全体ミーティングの様子